

長野の林業

平成27年5月10日発行
長野の林業編集委員会

No.304

もくじ



新任ごあいさつ	……中部森林管理局長……	2
森の元気情報	……信州フォレストコンダクター誕生……	3
特集		
Ⅰ 県産材時代の到来…JR長野駅の木材利用／信州F・パワープロジェクト…		4
Ⅱ 山地災害に備える		6
ナルホド!!耳より情報…皆伐施業後の更新の手引き		8
王滝村に「楽天の森」が誕生		9
お知らせ	……第66回長野県植樹祭／林業総合センター研究成果発表会の開催 長野県林業大学校の紹介……	10
県森連だより		12
長野県の木材市況		14



えこうばしら そびえ立つ回向柱～善光寺御開帳～

今年は、数え年で7年に一度行われる善光寺(長野市)の御開帳。4月5日から5月31日までの間、「前立本尊」が公開され、本堂前の回向柱と糸で繋がられます。この回向柱は、長野市松代産のスギ(直径約1m、樹高30m、推定樹齢220年)で作られており、御開帳の期間中、「ありがたいご縁」を授かるべく訪れる多くの老若男女の手に触れられます。

新任ご挨拶



中部森林管理局長
桂川 裕樹

四月一日に中部森林管理局長を拝命しました桂川です。

「長野の林業」の読者の皆様には、日頃から国有林野の管理・経営に格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私は平成二十年度から二十一年度にかけての二年間、中部森林管理局森林整備部長として勤務していました。再び同じ中部局で勤務することをとっても嬉しく、また光栄に感じています。管内の森林や林業の状況はおよそ承知していますが、不在であった五年間を含め最新の事情を改めてしっかりと把握し、国有林野事業の適切な実行を通じて長野県の森林・林業の課題の解決に向けた貢献ができるよう

う取り組みつもりです。

さて現在、長野県は「林業・木材産業の成長産業化」を推進しています。端的には、川下での新たな需要の開拓、川中ではユーザーの求める品質・性能を備えた木材製品の生産・販売、川上からは国産材の安定的・効率的供給、そしてそれらの取組が森林の多面的機能の発揮にも資するように進められること、といったところでしようか。

長野県の森林の三十四%にあたる三十七万ヘクタールの国有林を管理する中部森林管理局としては、平成二十五年度の国有林野事業の一般会計化以降、「公益重視の管理経営の一層の推進」、「森林・林業再生への貢献」、「山村地域の振興と森林の総合利用」を三つの柱として、この林業・木材産業の成長産業化をはじめとする各般の課題に取り組んできました。

また、昨年度の南木曾町の土石流災害や御嶽山の噴火災害など自然災害の発生、一方では今年度の塩尻の大型工場の稼働開始など、地域における新たな課題や状況を踏まえた取組も進めていくこと

としています。

平成二十七年度的におきましては、まず「公益重視の管理経営の一層の推進」として、自然災害の復旧対策、木曾地方の温帯性針葉樹林の保存・復元を目指す「木曾悠久の森」や、ニホンジカ被害対策等に取り組みます。また「森林・林業再生への貢献」として、主伐・再造林コストの低減、システム販売による木材の安定供給、民国連携による森林整備や木材供給、事業予定量の情報提供、人材育成や技術開発等を進めます。

さらに「山村地域の振興と森林の総合利用」として、地域の伝統産業・文化にも資する森林整備や木材供給、レクリエーションの森の情報発信、イベントを通じて木曾地域の復興支援等を推進します。

これらについては、長野県をはじめ市町村や関係団体の皆様と連携して取り組みこととし、ひいては林業・木材産業の成長産業化を含む長野県の森林・林業の課題への貢献ともなるよう、特段の努力を重ねて参りたいと考えています。

引き続き国有林へのご支援とご協力をお願いし、着任の挨拶とさせていただきます。

信州フォレストコンダクターの 育成を進めています！

長野県では、健全な森林づくりに貢献し、地域資源を活用する産業として林業・木材産業が発展していくため、「里山を活用した地域づくりから、森林管理、木材の出荷・利用等にわたり、経営感覚を持ちながら総合的な視野で指揮することのできる人材」である「信州フォレストコンダクター」の育成を平成二十五年度から進めています。

平成二十五年度に登録された十名に加え、平成二十六年度には新たに九名がコンダクターに登録されました。

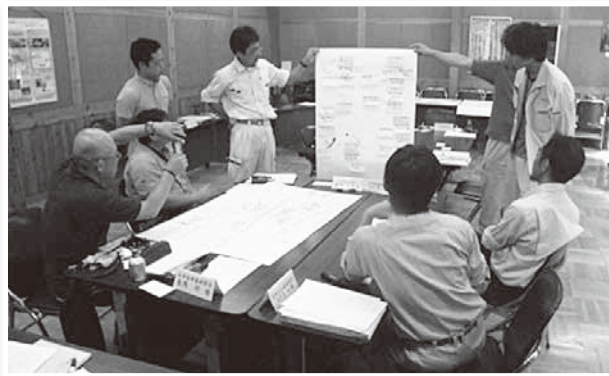
これまでに登録された十九名の皆様が県下各地で活躍できるよう、連携や情報共有の場なども用意して活動を支援するとともに、事業の最終年度となる本年度には十一名の育成を目標にコンダクターの育成を進めてまいります。

新たに信州フォレストコンダクターとなった皆様（地域順、敬称略）

地域	事業体名	氏名
上小	信州上小森林組合	田中 憲一郎
諏訪	有限会社中央緑化	野田 幸秀
上伊那	上伊那森林組合中部支所	松尾 秀一
下伊那	飯伊森林組合飯伊木材流通センター	前島 浩司
木曽	木曽森林組合	古谷 武仁
木曽	木曽南部森林組合	長岡 功
松本	松本広域森林組合	山本 健太
北安曇	大北森林組合	荻窪 善明
長野	北信木材生産センター協同組合	田中 真喜

[H26.7.29]▶

集合研修では、県内企業のトップランナーに講義をお願いしたほか、ワークショップ形式で課題解決の手法等を学んでいただきました。



[H26.11.18]▲

H25に登録されたコンダクター、H26のコンダクター候補生、地方事務所の林業普及指導員による連携会議が開かれ、活発な意見交換が行われました。



[H27.3.6]▶

集合研修の閉講式には阿部知事も出席し、激励の言葉とともに、一人ひとりに登録証を手渡しました。



新幹線ホームのベンチ



JR長野駅の木庇と列柱(木造公共施設整備事業)

長野市の玄関口 県産材でお出迎え 生まれ変わった「JR長野駅」の木材利用

三月十四日に北陸新幹線が開業し、県産材をふんだんに使用して新しくなった駅ビルは、大勢の人で賑わっています。

特に目を引くのは、善光寺口の大庇と列柱。庇のルーバーや列柱化粧材に、長野市産のスギが二八四立方メートル使用されており、長野市の玄関口の新たな顔として存在感を放っています。

駅構内では、新幹線のホームに様々な種類の板を使用したベンチが登場。製作は伊那市の有賀建具店で、アカマツやカエデ、クリ、ケヤキなど全五十三種の板を用いた六基が配置され、信州の樹種の豊富さや、色・手触りの違いを肌で実感できるものとなっています。また、新幹線の待合所や在来線の通路には、様々な樹種の「木タイル」が展示され、利用客の目を引いています。

新幹線の改札を出ると、正面の壁板が目飛び込みます。こちらはカラマ



ケロリン木桶(左)と従来品(右)

ツの無垢板。以前の壁面とは随分違った柔らかな雰囲気を出しています。駅ビル内のショップも木質を基調としたものが多く、特に「東急ハンス長野店」では、すし桶や手桶、湯桶、木製ボールペンなど、木材を利用した県産品を購入することもできます。

◆富山の企業とのコラボ商品 「ケロリン木桶」も登場

黄色いプラスチック桶でおなじみの「ケロリン桶」。販売元の富山市の製薬企業「内外薬品株式会社」が、北陸新幹線開業を記念して、木曽産の木桶(サワラ)による「ケロリン木桶」の販売を開始しました。駅ビル内の東急ハンス長野

店と「銀座NAGANO」(東京都)で、一個四千円(税抜き)で販売。三月十四日の発売日から売り切れが続出するほどの大人気となっています。販売元の内外薬品株式会社では、この木桶の売上の一部を木曽地域の森林づくりに役立てようと、木曽広域連合との「森林の里親協定」の締結を予定。小さな木の商品は、「木の文化の再生」への貢献のみならず、新幹線沿線地域の交流や木曽地域の復興・森林づくりにも寄与しています。

【県産材利用推進室】



JR長野駅構内の木質内装(木造公共施設整備事業)



信州F・POWERプロジェクトの

木材加工施設が竣工

平成二十六年七月から建設工事が始まった信州F・POWERプロジェクトの木材加工施設（ソヤノウッドパーク）が完成し、四月十日に竣工式が執り行われました。竣工式では、征矢野建材（株）櫻井社長、阿部知事をはじめ、国・県・近隣市町村・地元・林業関係者・工事関係者・取引関係者など、多数の皆様の参加のもとフローリング生産ラインの始動式、設備見学会、記念植樹及び式典が執り行われました。午後の見学会と合わせ、約六百名の出席者となり、期待の大きさや関心の高さが伺われました。



竣工式での知事あいさつ

今回、完成した木材加工施設は、県内初の集中型木材加工施設で、アカマツや広葉樹を中心に初年度の原木消費計画量、五万立方メートル。三年後は年間目標原木消費量十立方メートルを利用し、フローリングを中心に生産します。



ソヤノウッドパークの全景



ソヤノウッドパークの原木集荷状況

知事からは、「夢と希望を持てる最先端の施設。この日が長野県の林業再生の大きな契機になったと、十年後、二十年後、大勢の人に実感してもらえよう、県としてもがんばりたい。」と長野県の林業創生に向ける思いを込めてあいさつがありました。

併設予定の木質バイオマス発電施設は、平成二十九年春の稼働を目指し、準備が進められていきます。

【導入施設】…選別機一基、剥皮施設一基、製材ライン一式、フローリング生産ライン一式、木材乾燥機二十四基、作業用建物（製材用・造作材用・構造材用）、原木選別棟一棟、事務所一棟、養生庫二棟、製品保管倉庫四棟等

【県産材利用推進室】



山地災害に備える



平成26年7月台風災害
南木曾町梨子沢

地域ぐるみで取り組む 山地防災活動の事例



危険箇所パトロール(諏訪市榑町)



溪流内の倒木整理(池田町坂下)

山地災害が多いのは、これから始まる梅雨の季節です。そこで、国、都道府県、市町村では毎年5月20日～6月30日に山地災害防止キャンペーンを全国的に展開し、山地災害危険地区の周知やパトロール、山地災害に備える広報活動、防災訓練などを行っています。

山地災害防止キャンペーン 5月20日～6月30日

日本では、毎年2,000箇所もの山地災害が発生し、多くの被害をもたらしています。日本で山地災害が多く発生するのは、地形や気候条件が山地災害を起こしやすい特性を持っているからです。私たちは日ごろから、山地災害の危険と隣り合わせに暮らしていることを認識しておかなければなりません。



平成25年9月台風災害 泰阜村 黒見



平成25年9月台風災害 阿智村 伍和



平成26年7月台風災害 南木曾町 胡桃田沢



平成26年11月神城断層地震災害 長野市 郷路



近年も山地災害が
多発しています

ちさんマンから魂のお知らせ！

山崩れ、土石流などの山地災害を未然に防ぐための、森林整備や治山施設整備などの取組をまとめた、「災害に強い森林づくりのススメ（森林の防災・減災対策事例集）」を作成した！

これまでに行政や地域住民の皆さんが取組んできた具体例を、写真の掲載を中心にわかりやすく紹介している！この事例集は、県ホームページからダウンロード可能！今回はこれが限界！
<http://www.pref.nagano.lg.jp/shinin/sangyo/ringyo/hozen/chisan/index.html>

ホーム＆仕事・産業・観光＆森林・林業＆森林保全＆信州の治山



【森林づくり推進課】

見逃すな！山の危険信号

山地災害への備えとして、身近な山のことをよく知り、山地災害の兆候を覚えておきましょう。



皆伐施業後の更新の手引きを作成しました

長野県の森林は、資源の成熟に伴い、間伐などの保育を行う「育てる時代」から、木材資源を積極的に活用する「利用の時代」に移行してきており、これからは、現在進めている搬出間伐に加えて、皆伐施業も行われることになります。皆伐施業に対しては、一時的に森林を失うことや、健全な森林を再生できるのだろうかということへの不安や、災害を誘発してしまうのではという心配の声も聞かれます。

そこで長野県では、皆伐施業を行っても、健全な森林が再び成立できるようにするために必要な技術的知見を盛り込んだ手引書を作成しました。

この手引書では、皆伐施業を行った後の森林をどのように育てていけばよいのかという更新方法の判断基準を示すと共に、近年増えているニホンジカ等の被害リスクをどのように避ければよいのか、更新施業後の森林がどのような状況であれば健全な森林に戻るのかといった技術的な知見を整理しました。

本書は、長野県のホームページに掲載しておりますので、興味のある方はごらんいただければ幸いです。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyo/kensei/soshiki/soshiki/kencho/shinshunoki/documents/reforestmanual.pdf>

【信州の木活用課】

森林資源を有効に活用するための

伐採ガイドラインを策定

長野県木材協同組合連合会

『伐採跡地は確実な更新を計画的に取り組みます』

長野県木材協同組合連合会では、長野県の補助事業を受けて「伐採ガイドライン」を策定しました。「森林資源を有効に活用するための伐採ガイドライン」は、今後想定される森林の主伐時代に向け、森林組合や素材生産事業体の自らの「責任ある素材生産業の行動規範」となります。

策定の背景には大型木材加工施設の稼働や森林資源の平準化に向けた施業により、皆伐が推進されることを想定しています。が、素材生産事業者が社会から求められる役割を担い、社会的信頼と地位の向上を図るためにはどう行動を起こすべきかについてまとめたものです。

内容的にはありきたりのことと思われるかもしれませんが、各施業における重要なポイントについて整理しました。

ガイドラインの策定に当たっては、宮崎県の「NPO法人ひむか維森の会」の指導を受け、伐採現場を調査させていただきました。



林業県宮崎では更新が進んでいる



王滝村に

『楽天の森』ができました!

平成二十七年一月十五日、楽天(株)と王滝村、木曽森林組合の間で、「森林(もり)の里親契約」が結ばれ、『楽天の森』が誕生しました。

『楽天の森』は楽天イーグルスのマスコットモデルとなっているイヌワシなど猛禽類の生育環境を保全することが目的であり、今回、御嶽山のふもと王滝村にはクマタカが生育することから、お話をいただき、契約を結ぶことができました。

『楽天の森』は御岳湖周辺の村有林約5haで、ナラなどの広葉樹やカラマツの森林で、日当たりもよ



く、石場が多いため、ノウサギなど小動物の適した場所があり、クマタカにとっても絶好の餌場になります。

そのため、今後三年間で除間伐を行う計画を立て、平成二十六年度は2haの整備を行いました。

王滝村経済産業課の田中課長補佐さんも「通常の里山整備と違いクマタカの生育環境の向上が目的の事業ということで猟師さんにクマタカの生態等の話を聞き、ある程度の環境整備ができました。今後は日本野鳥の会木曽支部長さんの意見を参考に整備させて頂きたいと思います。」と喜んでおられました。

『楽天の森』は木曽町三岳から県道へ王滝村へ向かう途中の鞍馬トンネル手前にあります。王滝村に来る機会があったら、ぜひご覧ください。

【木曽地方事務所林務課】

6月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
荷主会結成47周年 記念市 6月20日(土)	6月23日(火)	6月 8日(月) 6月24日(水)	6月 9日(火)
入札物件紹介・入札結果はホームページで掲載 ※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。			

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曽官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>

荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1

坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1

☎0264-52-2483(代)

☎0573-75-3178(代)

理事長 野村 弘

本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町2-45

☎0264-52-2480 FAX0264-52-2324

FAX0264-52-4885

FAX0573-75-3172

平成二十七年 ふるさとの森づくり県民の集い（第六十六回 長野県植樹祭）
 ～第六十七回全国植樹祭二年前イベント～が大町市で開催されます

大会テーマ 育てよう 小さな木から 大きな森

（大町市立第一中学校 柳原 響 さんの作品）

県民参加による森林づくりを一層進めるために、地域住民や森林づくりを支援する企業や団体のご参加・ご協力のもとで、第六十七回全国植樹祭の一年前イベントとして、森林づくり活動を行い、緑豊かな住みよい郷土づくりを推進します。

開催日時・会場

●平成二十七年五月三十日（土） 午前九時三十分から

午後一時まで

●大町市 鹿島槍スポーツヴィレッジ「HAKUBA VALLEY 鹿島槍スキー場」（荒天時会場「大町市総合体育館」）

行事概要

●アトラクション

●式典 大会テーマ表彰、全国植樹祭木製地球儀お披露目／ホームステイの

苗木のお引き渡し／みどりのふれあい宣言等

●森林整備活動 広葉樹約三千本の植樹等を行います。

●郷土物産品の展示・販売や県内森林整備活動PRブースを設置します。

※当日は昼食をご持参ください。なお、昼食時に汁物を無料配布します。

参加方法

●事前の申込みは不要です。（当日、直接会場にお越しください。）

なお、行事の詳細については

県庁 林務部 森林づくり推進課 全国植樹祭推進室 施設植樹係 026-235-7379（直通）又は 北安曇地方事務所 林務課 普及林産係 026-1-231-6522（直通）まで、お気軽にお問い合わせください。

併催行事

●森林教室（事前の申込みが必要です）

午後一時から午後三時まで 大町市 鹿島槍スキー場周辺
 長野県森林インストラクター会員を講師に植生等を観察します。
 申込み・お問い合わせ先 公益財団法人長野県緑の基金

026-232-0111（内線4819）



平成26年度
ふるさとの森づくり
県民の集いの状況



一年前イベント
特別プレゼンター 2015年度
ミス日本みどりの女神
佐野 加奈 さんが参加

林業総合センター

研究成果発表会を開催します。

入場無料

林業総合センターや協力機関の研究成果等を広く県民に情報発信し、森林・林業への理解を深めていただくために開催します。

日時 平成二十七年六月十一日（木） 午後十二時三十分開場

場所 塩尻市レザンホール（塩尻市役所北隣）

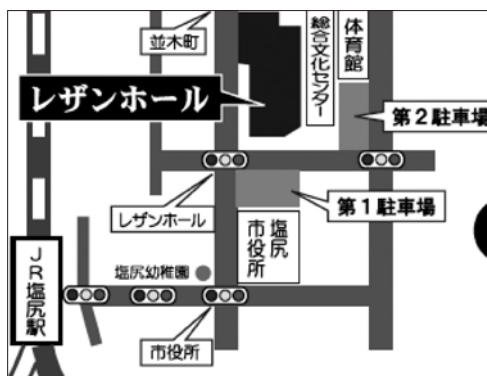
内容 開催テーマ 「木を活かし未来へつなぐ森づくり」

発表内容（午後一時～、中ホール）

山地災害危険地の抽出／被害跡地や広葉樹林の更新／小面積皆伐跡地の切株を利用したきのこ栽培／カラマツ製治山施設の劣化調査／未利用木材生産システム／その他

ポスター等展示発表（午後三時～、ギャラリー）

発表課題以外の当センターや協力機関の研究成果等をポスター展示で紹介し、成果発表会に参加していただいた皆さんと直接情報交換します。



レザンホール 塩尻市大門七番町四番八号

電話 0263-53-5503

交通案内：塩尻駅より徒歩約7分です

お願い 自動車でお越しの方は乗合せにご協力ください

問い合わせ

林業総合センター 指導部
 部長 宮崎 隆幸 担当 間島 達哉
 電話 0263-52-0600
 Fax 0263-51-1311
 E-mail : ringyosogo@pref.nagano.lg.jp
 http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/



長野県林業大学校の紹介

長野県林業大学校は、本県の林業の近代化を推進するため、専門的知識・技術を身につけ、農山村地域にあって指導的な役割を果たす技術者や林業後継者となる有能な人材を養成することを目的として、行学一致の総合的な教育を行っています。

◇修業年限 二年

◇定員 四十名(各学年二十名)

◇全寮制

即戦力につながる多くの資格取得

○卒業時に習得できる資格等

◆専門士(林業専門課程)の称号の付与
◆労働安全衛生規則の特別教育修了証(伐木造材)◆刈払機取扱作業者安全教育修了証◆国家公務員一般職大学卒業程度試験受験資格(卒業見込者)◆森林情報士二級(要申請)◆樹木医補(要申請)◆自然再生士補(要申請)◆四年制大学への編入資格



○試験等合格後に得られる資格等

◆森林インストラクター二次試験一部免除◆森林整備業務専門技術者◆林業架線作業主任者免許規程による講習修了書◆車両系建設機械運転技能講習修了証◆フォークリフト運転技能講習修了証◆小型クレーン運転技能講習修了証◆技能講習修了証◆玉掛技能修了証◆日本赤十字社救急法救急員認定証◆日本赤十字社救急法救急員養成講習受講証

平成二十七年「県民共学講座」の開催について

林業大学校では、県民の皆様へ本校の授業を一部開放し、学生と共に受講していただく「県民共学講座」を開催しています。平成二十七年の開催予定は次のとおりです。受講希望者は大学校までご連絡ください。

回	講義内容	日時	講師
3回	〈文学〉 「星の王子さま」の読解、シャンソンの鑑賞	6月26日(金) 13:00～16:10	信州大学 吉田 正明先生
4回	〈林政学〉 農山村・都市と林業・森林について	8月26日(水) 13:00～16:10	信州大学 三木 敦朗先生
5回	〈哲学〉 正岡子規宮沢賢治の作品を題材に 「私」という謎について考えます	10月8日(木) 13:00～16:10	諏訪東京理科大学 関塚 正嗣先生
6回	〈森林生態学〉 森林の生態遷移、地質学的遷移、極相等	10月15日(木) 13:00～16:10	名古屋大学 只木 良也先生
7回	〈心理学〉 心とはなにか、ストレス、メンタルヘルスについて	11月25日(水) 13:00～16:10	元松本大学 石井 房枝先生
8回	〈経済学〉 第二次世界大戦後の世界体制、 先進諸国の高度経済成長、福祉国家等について学習	12月8日(火) 13:00～16:10	信州大学 岩崎 徹也先生

(第一回社会学、第二回造園学は既に終了)



連絡先

長野県林業大学校
〒397-0002
木曽郡木曽町新開4385-1
☎ 0264-23-2321
☎ 0264-21-1058
✉ ringyodai@pref.nagano.lg.jp



協同組合の明日を考える

長野県協同組合連絡会通常総会

J A 長野県ビル（長野市）にて4月20日、長野県協同組合連絡会の第45回通常総会が開催されました。

総会は労協ながの・青木代表理事と、J A 長野中央会・大槻会長より挨拶が行われた後、議事が執り行われました。



挨拶を行う大槻会長（JA長野中央会）

第1号議案・平成26年度事業報告並びに収支決算の承認について、第2号議案・平成27年度事業計画並びに収支予算の決定について、第3号議案・負担金の賦課・徴収方法について、第4号議案・平成27年度役員の選任についてが、それぞれ審議の上、原案通り承認されました。

協同組合連絡会では平成26年度の活動として、

●協同組合シンポジウム ●信大経済学部社会科学特別講座 ●長野県協同組合フェスティバル ●協同組合職員交流会「協同組合の未来に向かって」を行いました。

また、平成27年度の事業計画では協同組合連絡会として、①協同組合の価値・役割等に係る県民からの共感づくりに向けた、行事・広報の取組②組合員・会員の相互交流の促進に向けた取組③協同組合間連携による新たな取り組み④



J C 総研・比嘉氏による講演

諸会議の開催を行います。

総会終了後は一般社団法人J C 総研・比嘉理事より「協同組合の明日を考える」をテーマに、協同組合であることの意義の再確認、一層の協同組合間連携について講演が行われました。

職長・安全衛生

責任者教育開催

職長・安全衛生責任者教育（主催：長野県森林組合連合会）が4月12・13日に、安曇野市のもくりゅう館にて開催されました。

この研修会は、現場における作業員の安全向上と指導・監督能力

皆伝！刃物の極意

第九話 肥後守

株式会社 大崎商店

代表取締役 大崎久雄

野に遊ぶ少年のポケットには、いつも肥後守（ひごのかみ）と云うナイフが入っていた。

エンピツを削り、竹トンボを作り、色々な道具作りには、極めて便利な道具だったのである。筆者が小学校一年生で入学したとき、一人の少年の周りに人だかりができていた。その少年が、一本のエンピツを見事に削り上げている。左手のエンピツは、手の中でクルクル回り、右手の肥後守は、深からず、浅からず、手慣れた手の動きで削り上げていく。見ていた皆、一応に口をあけて驚いている。美しい芯のでたエンピツである。次の日から、皆、密かにエンピツ削りの練習が始まる。1960年代の頃、少年だった人達の話である。昭和35年頃、ある事件を境に「刃物を持たせない運動」が始まり、野原を焼くがごとく、全国瞬く間に広まり、エンピツを削る道具が凶器のごとく



の向上を目的として、県下の森林組合を対象に技能職員および一般職員参加のもと開かれました。

当日は、RSTトレーナーの伊東仁氏を講師としてお迎えし、講義を行っていただきました。一日目は職長の役割・指導及び教育の方法から始まり、基本的な労働災害発生の要因、作業の具体的改善の方法等について。二日目は作業手順の定め方、災害発生時における措置、グループ作業を通じた作業指示安全訓練など、計14時間にわたる研修が行われました。

本研修後、受講者には労働安全衛生法で定められた「職長・安全衛生責任者教育カリキュラム」に基づく修了書が交付されます。



グループワークの指導を行う伊東氏

安定的・効率的な木材供給体制の確立に向けて 「生産性向上スタートアップ勉強会」

4月21日に、中部森林管理局において生産性向上スタートアップ勉強会（主催：中部森林管理局）が開催され、160名を超える林業・木材関係者が県内外から訪れました。

中部森林管理局次長・河野氏より挨拶が行われた後、①中部森林管理局森林整備部長・中村氏より「生産性向上実現プログラムについて」、②長野県林業総合センター指導部長・宮崎氏より「労働生産性とコストについて」、③岐阜県揖斐



中部森林管理局次長・河野氏による開会の挨拶

農林事務所林業課森林整備係長・下野氏より「生産性の把握とコストの分析について」、④岐阜県森連岐阜林産システム推進センター所長・樋口氏より「岐阜林産システム推進センターの取組」について、それぞれ講演が行われました。

講演後は意見交換会が開催され、参加者からは長野県の実績目標の定め方や、労働生産性の計算基準、作業員に書いてもらった日報結果の見える化と活用方法など、様々な意見が交わされました。



意見交換会の様子

言われ、排除されていたのである。

ところが、長野県北安曇郡池田町立会染小学校では、「ナイフに親しむ週間」があり、六年生の児童が下級生に、耳かき、小枝のキーホルダー作りと正しいナイフの使い方、研ぎ方を教えているそうである。刃物の扱いにまだ慣れていない低学年の児童は、指先を切るぐらいのことはたまにはあるが、肥後守（ナイフ）による事故は、今まで一度も起こしたことがないそうである。ナイフの使い方を誤ると怪我をするということ、安全に刃物を扱うには当然、「研ぎ」という行為が大事な作業になってくるのである。ここでも気持ちを集中して、刃物を研がないと指を切るということになる。この会染小学校でも流し台に砥石を置いて肥後守を研いでいる姿がMONOMAガジン「はたらく刃物」（出版社：株式会社ワールドフォトプレス）に記載されている。この小学校は30年近くにわたり、学校の行事として行っているそうである。

目まぐるしいくらい、早い速度で情報が溢れる中、手の復権は、感性、感覚を呼び覚ます。この小さなエンピツの中にもあるような気がする。

長野県の木材市況

第953回 市売市況表

(平成27年4月28日実施)

長野県森林組合連合会 伊那 木材センター

Tel 0265-72-2684

Fax 0265-76-8759

○ 強気配 — 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
ひのき	3.0	直	16~18	18,000	13,000	△	6m曲材は3m造材に
		直	20上	20,000	13,000	△	
	4.0	直	16~18	16,500	15,000	-	
		達	20~28	21,000	15,000	-	
		元	20~28	35,000	14,000	△	
		曲	14~18	13,000	10,000	△	
	6.0	曲	20上	14,000	12,000	-	
		曲	18~20	22,600	20,000	△	
トウヒ	4.0~5.0	達	50上	37,500	16,000	△	トウヒ動き鈍い 広葉樹の太物に高値人気
栗	3.0~4.0	達	16~30	35,000	15,000	○	
胡桃	3.0	直	30上	52,000	25,000	○	
桜	3.0~5.0	達	24上	37,000	35,000	○	応札活発
からまつ	4.0	直	14~18	10,000	8,000	-	
		直	20上	14,000	12,000	○	
		曲	14~18	8,000	6,000	-	
		曲	20上	12,000	9,000	-	
まあつか	4.0	曲	18~22	8,000	6,000	△	需要期も終わり弱気配
		曲	24~28	10,000	8,000	△	
		直	30上	12,000	10,000	△	
すぎ	3.0	直	16~18	12,500	10,000	○	3m柱材引き合いあり
		直	20上	13,000	8,000	-	
	4.0	直	22~28	14,000	12,000	○	
		元	30上	16,000	14,000	○	
		曲	14~18	6,000	5,000	△	
		曲	20上	8,000	6,000	△	

出品量1062㎡ 販売量1056㎡ 落札率99% 買い方 38社

今回、国有林の唐松・トウヒ等の出品がありました。広葉樹良材引き合いあり太物には高値がみられた。時期が悪くなる為、造材後は早めの出品をお願い致します。樹種混載での出荷は当センターでの仕分け作業に手間がかかり、市売りへの出品が遅れますのでご了承ください。尚、合法認定事業者の登録をお願いするとともに出荷時にはその都度〔合法認定番号および合法木材であるコメントを記載した内容の納品書〕の提出をお願いします。

第955回 市売り市況表

(平成27年4月27日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347

Fax 77-2349

○ 強気配 — 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0~4.0	直	18~40	23,000	10,000	-	3.0m×14~18cm柱取り 引合いあります。20cm上 は4.0m造材してください。
	4.0~10.0	直	40~60	52,000	25,000	-	
ひのき	3.0~4.0	直	14~24	20,000	14,000	-	値段横這い。
	4.0	元	30~40	50,000	23,000	-	
からまつ	4.0	達	6~13	10,000	8,000	-	材不足しています。ご出 品お願いいたします。
		直	14~44	15,000	8,000	-	
		曲	20上	11,000	7,000	-	
あかまつ	4.0	直	20~34	12,000	9,000	-	需要期過ぎ梁材価格低 迷。
		元	30~52	15,000	12,000	-	
けやき	3.0~4.0	売一 り本	36~80	180,000	50,000	○	広葉樹、応札活発ご出 品下さい。
	7.0		66	300,000		○	
くるみ	4.0	達	20~40	36,000	15,000	○	
いちい	3.0	売一 り本	32	99,000		○	
くさく	3.0~4.0	達	16~44	43,000	15,000	○	
さくら	4.0	達	20~40	39,000	18,000	○	

出品量 2,588㎡ 販売量 2,474㎡ 落札率 96% 買い方 45社

今回ほとんどの材に応札があり、良材には今まで以上に高値がつきました。全般的に需要はあるものの、品不足してるのが現状です。今後も需要が見込まれますし、天候も良いことを機会に引き続き出品をお願いします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第986回 市況表

(平成27年4月14日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

○ 強気配 — 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16~18	13,500	9,000	-	直造材での出品下さい。
		直	20上	12,000	10,000	-	直造材での出品下さい。
	4.0	達	8~13	5,500	4,300	-	
		直	14~20	13,500	9,600	-	出品をお願いします。
		直	22~28	12,700	11,000	○	応札活発出品をお願いします。
		直	30上	28,000	12,000	○	応札活発出品をお願いします。
		曲	14~18	6,000	4,000	-	
		曲	20上	11,000	7,000	-	
	5.0	直	30~42	16,000	11,000	-	
		達	6~13	11,000	6,000	○	細物直造材を心がけて下さい。
からまつ	4.0	直	14~18	12,500	8,500	○	応札活発出品をお願いします。
		直	20上	17,200	11,000	○	応札活発出品をお願いします。
		曲	14~18	5,100	5,000	-	
		曲	20上	12,600	9,000	-	
ひのき	3.0	直	16~18			-	
		直	20上			-	
	4.0	直	16~18	17,000		-	
		直	20~28	22,800		-	
さくら	2.8	直	30上	23,500		-	
		曲	20上	19,000		-	
えんじゆ	3.8	直	26	132,300			
	3.8	曲	28	68,000			

出品量 2,540㎡ 販売量 2,452㎡ 落札率 96.5% 買い方 43社

野山の桜は咲きほこり、可憐な花を愛でる時季、当センターでは丸太のさくらが熱い札で応札され又からまつ、すぎの太目良材にも応札が集中し、活気ある市売りでした。有利販売のために木口に泥等は付けずに引き続き丁寧な造材をお願いします。又、広葉樹は早めの出材をお願いいたします。木材利用ポイント制度を活用される需要者のため、合法認定事業者の登録をお願いします。又、出荷時にはその都度必ず〔合法認定番号及び「合法木材である」〕コメントを記載した内容の〔納品書〕の提出をお願いします。

第462回 木材共販市況表

(平成27年4月22日実施)

出品量 1,550㎡ ・ 買い方 19社 ・ 落札率 95.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹 種	長さ	末口径 cm	高 値 円	平均値 円	平均石値 円	備 考
ひ の き	2.0	18 ~ 44	19,000	12,000	3,360	一本売り
	3.0	直 14 ~	11,000	9,000	2,520	
		元直 16 ~	20,000	15,000	4,200	
	込 18 ~ 22	18,000	15,000	4,200		
	込 24 ~ 36	20,000	16,000	4,480		
	中込 16 ~ 22	15,000	13,000	3,640		
	込 24 ~ 28	16,000	13,000	3,640		
	元 30 上	25,000	20,000	5,600		
	4.0	元直 16 ~ 22	18,500	16,500	4,620	
		元 24 ~ 28	23,000	20,000	5,600	
	30 上	45,000	28,000	7,840		
		中直 12 ~ 14	9,000	8,000	2,240	
	込 16 ~ 22	15,000	13,000	3,640		
		込 24 ~ 28	15,000	13,000	3,640	
6.0	直 18 ~ 22	26,000	23,000	6,440		
	直 24 ~ 28	23,000	20,000	5,600		
	4.0	12下	360	300		
す ぎ	4.0	込直 16 ~ 18	9,000	8,000	2,240	
		込直 20 ~ 22	10,500	9,000	2,520	
		24 ~ 28	13,500	11,500	3,220	
		30 上	18,500	13,500	3,780	
	3.0	18 ~ 22	8,500	7,500	2,100	
	3.0	24 ~ 32	8,500	8,000	2,240	
か ら ま つ	3.0	直 14 ~ 22	5,000		0	
	4.0	込 12 ~ 14	5,500	5,000	1,400	
	4.0	込 16 ~	6,000	5,000	1,400	
	4.0	込 18 ~ 28	11,500	8,000	2,240	
	4.0	直 30 上	13,500	8,500	2,380	
	4.0	小曲り 14 ~ 30	4,500	2,500	700	
	4.0	直 12下	400	300		
ま あ つ か	4.0	22 ~ 28	11,500	9,000	2,520	
	4.0	30 ~ 38	13,500	11,500	3,220	
	4.0	40 ~ 44	14,500	12,500	3,500	

総 評

天候不順により、出材量少なく低調。ひのき、出材少なく並材多くやや価格下げ気味、低調、欠点材には応札なし。すぎは、引き合いあり、価格は横ばい。からまつは、価格横ばい。あかまつ価格横ばい。出荷協力いただき、ありがとうございました。引き続き丁寧な造材を心がけてください。